



—受賞講演ならびにミニシンポジウム—

「化学と生物の接点～ケミカルバイオロジーの最前線」

日時: 平成29年6月24日(土) 13:00～

場所: 信州大学農学部(伊那キャンパス)30番講義室(F棟2階)

主催: 公益社団法人日本農芸化学会中部支部

共催: 信州大学農学部 参加費:無料(会員でない方も来聴歓迎)

プログラム

11:00 企業展示(講義棟1階:12, 13, 14番講義室)

農芸化学若手女性研究者賞 受賞講演(30番講義室)

13:00～ 開会の挨拶

13:10～ 食品由来機能性成分による免疫調節作用メカニズムに関する研究
田中 沙智 信州大学大学院総合理工学研究科 農学専攻

13:40～ 有用タンパク質の微生物生産とその産業利用に関する研究
加藤 晃代 名城大学農学部

農芸化学女性研究者賞 受賞講演

14:10～ 酸性糖鎖ポリシアル酸の新機能の発見とその応用展開

佐藤 ちひろ 名古屋大学生物機能開発利用研究センター

農芸化学奨励賞受賞講演

14:40～ 菌類が産生する機能性物質に関する研究

崔 宰薫 静岡大学大学院農学領域

15:10 休憩

ミニシンポジウム「化学と生物の接点～ケミカルバイオロジーの最前線」

15:30～ 次世代型抗インフルエンザ薬を指向したシアリダーゼ阻害剤の設計
清田 洋正 岡山大学 大学院環境生命科学研究科

16:10～ 細胞内信号伝達系の調節を指向した中分子戦略
大神田 淳子 信州大学大学院総合理工学研究科 農学専攻

17:00～ 懇親会(信州大学農学部生協)【事前申し込み 一般2,500円, 学生500円
当日申し込み 一般3,000円, 学生1,000円】



問合先 真壁秀文(信州大学学術研究院 農学系)
〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304
TEL: 0265-77-1630, E-mail: makabeh@shinshu-u.ac.jp

最新情報は日本農芸化学会中部支部ホームページでご確認ください
<http://chubu.jsbba.or.jp/>

アクセスマップ

